

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月8日

上場会社名 イハラサイエンス株式会社
 コード番号 5999 URL <https://www.ihara-sc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営統轄室長
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 長岡 敏
 (氏名) 中川路 豊

TEL 03-6721-6988

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	11,596	23.6	2,468	19.0	2,924	34.7	2,128	37.9
2022年3月期第2四半期	9,385	38.2	2,074	110.5	2,171	110.0	1,543	63.7

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 2,245百万円 (41.5%) 2022年3月期第2四半期 1,586百万円 (62.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	197.62	196.32
2022年3月期第2四半期	144.93	143.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	29,239	23,771	80.8	2,191.19
2022年3月期	27,630	22,179	79.7	2,047.49

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 23,617百万円 2022年3月期 22,033百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	63.00	63.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	6.8	4,400	0.5	4,550	△1.8	3,200	△3.4	297.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	14,000,000 株	2022年3月期	14,000,000 株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	3,221,424 株	2022年3月期	3,238,630 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	10,768,682 株	2022年3月期2Q	10,649,921 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

記載している予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、業績の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、記載している予想に関する事項は3ページを参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済及び世界経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の進展や経済活動の規制緩和などにより回復基調となりましたが、一方で、エネルギー・原材料価格の高騰、インフレの加速及び政策金利の上昇やロシアによるウクライナ侵攻の長期化などにより景気の先行きは不透明感が増しました。

このような経済環境のもと、当社グループは配管を科学し、「お客様の望む時に、望むモノを、望む形と望むコストで」お届けすることに全力を注ぎ、「最適配管システムで世界のお客様に感動を」を合言葉に「感動創造企業」の実現に向けてグループ一丸となって取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は115億96百万円（前年同期比23.6%増）となり、営業利益は24億68百万円（前年同期比19.0%増）、経常利益は29億24百万円（前年同期比34.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億28百万円（前年同期比37.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

当社は製品構成によって以下の2事業部を報告セグメントとしております。

(C P事業部)

半導体及び液晶製造装置市場向け、食品・医療市場向けに、クリーンな環境に対応した継手、バルブ、配管ユニット製品等を販売・生産しており、半導体需要の高まりによる半導体関連メーカーの堅調な設備投資によって、売上高は76億25百万円（前年同期比36.1%増）となり、セグメント利益は25億円（同25.6%増）となりました。

(G P事業部)

建設機械、工作機械、車両、船舶、化学プラント等の一般産業市場向けの継手、バルブ、配管システム等を販売・生産しています。建設機械市場、工作機械市場において海外を中心に需要の回復が見られ、売上高は39億50百万円（前年同期比5.0%増）となりましたが、原材料価格の高騰などにより、セグメント利益は8億4百万円（同10.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ16億9百万円増加し、292億39百万円となりました。これは、現預金が5億78百万円増加、棚卸資産が8億74百万円増加したことなどによるものです。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ18百万円増加し、54億68百万円となりました。これは、買掛金が1億53百万円増加、未払法人税等が47百万円減少したことなどによるものです。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ15億92百万円増加し、237億71百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益21億28百万円と配当金支払い6億77百万円により利益剰余金が14億50百万円増加したことなどによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末79.7%から当第2四半期連結会計期間末80.8%となり、1株当たり純資産額は前連結会計年度末2,047円49銭から当第2四半期連結会計期間末2,191円19銭となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローで16億79百万円のプラス、投資活動によるキャッシュ・フローで3億34百万円のマイナス、財務活動によるキャッシュ・フローで8億92百万円のマイナスとなりました。この結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末より6億14百万円増加し73億74百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、得られた資金は16億79百万円（前年同四半期は5億80百万円）でありました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上29億24百万円、棚卸資産の増加による8億74百万円の減少、未払金の減少による1億40百万円の減少などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、使用した資金は3億34百万円（前年同四半期は1億80百万円の支出）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出3億69百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、使用した資金は8億92百万円(前年同四半期は6億96百万円の支出)でありました。この主な要因は、長期借入金の返済2億18百万円、配当金の支払い6億73百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期以降における、半導体業界における設備投資の縮小、原材料価格の高騰、インフレ抑制に向けた金融引き締めによる景気後退、予測不能な為替の動向などが業績に対する大きな懸念材料となっています。

2023年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日に公表した予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,813	7,391
受取手形及び売掛金	5,213	5,088
電子記録債権	1,139	966
商品及び製品	750	1,133
仕掛品	2,000	2,019
原材料及び貯蔵品	2,234	2,705
その他	464	471
流動資産合計	18,615	19,776
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,960	2,897
機械装置及び運搬具（純額）	1,048	1,182
土地	2,386	2,386
建設仮勘定	226	270
その他（純額）	90	106
有形固定資産合計	6,713	6,843
無形固定資産	444	448
投資その他の資産		
投資有価証券	1,293	1,450
長期貸付金	3	3
繰延税金資産	362	449
その他	217	289
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	1,856	2,171
固定資産合計	9,015	9,462
資産合計	27,630	29,239

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,451	1,604
短期借入金	437	237
未払金	502	353
未払法人税等	972	925
賞与引当金	—	321
役員賞与引当金	39	—
その他	238	230
流動負債合計	3,641	3,673
固定負債		
長期借入金	103	85
退職給付に係る負債	1,192	1,196
長期未払金	278	278
資産除去債務	71	71
長期預り保証金	162	163
固定負債合計	1,809	1,795
負債合計	5,450	5,468
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,564	1,564
資本剰余金	618	637
利益剰余金	22,107	23,557
自己株式	△2,565	△2,551
株主資本合計	21,724	23,207
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	226	229
為替換算調整勘定	83	181
その他の包括利益累計額合計	309	410
新株予約権	116	107
非支配株主持分	29	45
純資産合計	22,179	23,771
負債純資産合計	27,630	29,239

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	9,385	11,596
売上原価	6,320	8,040
売上総利益	3,065	3,556
販売費及び一般管理費	991	1,087
営業利益	2,074	2,468
営業外収益		
受取利息及び配当金	19	28
為替差益	42	285
持分法による投資利益	34	139
その他	18	12
営業外収益合計	113	467
営業外費用		
支払利息	3	3
その他	13	8
営業外費用合計	17	11
経常利益	2,171	2,924
税金等調整前四半期純利益	2,171	2,924
法人税、住民税及び事業税	769	871
法人税等調整額	△144	△87
法人税等合計	624	783
四半期純利益	1,546	2,140
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,543	2,128

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,546	2,140
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42	2
為替換算調整勘定	15	103
持分法適用会社に対する持分相当額	△17	△1
その他の包括利益合計	40	104
四半期包括利益	1,586	2,245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,583	2,229
非支配株主に係る四半期包括利益	3	16

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,171	2,924
減価償却費	220	255
持分法による投資損益 (△は益)	△34	△139
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△14	4
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10	△39
賞与引当金の増減額 (△は減少)	361	321
株式報酬費用	23	24
受取利息及び受取配当金	△19	△28
支払利息	3	3
為替差損益 (△は益)	△5	△131
売上債権の増減額 (△は増加)	△790	297
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△652	△874
仕入債務の増減額 (△は減少)	△0	153
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△161	6
未払金の増減額 (△は減少)	4	△140
その他	△68	△75
小計	1,027	2,560
利息及び配当金の受取額	19	28
利息の支払額	△3	△2
法人税等の支払額	△462	△906
営業活動によるキャッシュ・フロー	580	1,679
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△79	△369
無形固定資産の取得による支出	△3	△6
投資有価証券の取得による支出	△113	△5
長期貸付金の回収による収入	0	0
その他	15	46
投資活動によるキャッシュ・フロー	△180	△334
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△218	△218
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△478	△673
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△696	△892
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	162
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△310	614
現金及び現金同等物の期首残高	7,151	6,759
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,840	7,374

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	CP事業部	GP事業部	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,588	3,726	9,314	70	9,385
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13	36	50	—	50
計	5,601	3,763	9,365	70	9,435
セグメント利益	1,990	903	2,893	34	2,928

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない商品売上及び賃貸不動産売上であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,893
「その他」の区分の利益	34
セグメント間取引消去	△18
全社費用(注)	△835
四半期連結損益計算書の営業利益	2,074

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	C P 事業部	G P 事業部	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,609	3,904	11,514	82	11,596
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16	45	62	—	62
計	7,625	3,950	11,576	82	11,659
セグメント利益	2,500	804	3,305	35	3,340

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない商品売上及び賃貸不動産売上であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,305
「その他」の区分の利益	35
セグメント間取引消去	△2
全社費用 (注)	△869
四半期連結損益計算書の営業利益	2,468

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。